

報道発表

令和7年7月18日
名古屋税関
四日市税関支署

令和7年上半年分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年上半年分について、輸出は「写真用・映画用材料」、「その他の化学製品」などが増加したものの、「石油製品」、「電気回路等の機器」などが減少したことから、対前年同期比11.2%の減少となった。また、輸入は「液化天然ガス」などが増加したものの、「原油及び粗油」などが減少したことから、同10.5%の減少となった。

その結果、差引額は5,702億円（同10.0%の減少）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	4,920億円	▲11.2%	1兆0,622億円	▲10.5%	▲5,702億円	▲10.0%
2期連続の減少		3期ぶりの減少				

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1)写真用・映画用材料	171億円	+42.9%	輸入	増加品目	(1)液化天然ガス	1,711億円	+7.0%	
		(2)その他の化学製品	179億円	+16.6%			(2)生ゴム	245億円	+48.9%	
		(3)映像機器	77億円	+36.0%			(3)その他の採油用種子	69億円	+15.7%	
	減少品目	(1)石油製品	294億円	▲45.2%		減少品目	(1)原油及び粗油	5,711億円	▲16.7%	
		(2)電気回路等の機器	338億円	▲26.7%			(2)石炭	177億円	▲34.4%	
		(3)自動車	678億円	▲10.4%			(3)非鉄金属鉱	90億円	▲41.8%	
	地域別動向	アジア、北米が減少				地域別動向	中東、アジアが減少、中東欧・ロシア等は増加			

（参考）ドルレートは、149.47円（前年同期比0.9%、1.42円の円高）であった。

（注）令和上半期分のドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。